今回の結果は、新しい自公政権、岸田政権の凋落ぶりと反自民の流れを示した。岸田首相が2回も応援に入った静岡で自民党候補が敗北するという結果となり、多くの有権者が今回の結果を喜んでいる。鈴木ちか候補は及ばなかったものの、コロナ、リニア、浜岡原発で大義の旗を鮮明にしてたたかったことは、選挙戦の争点を鮮明にするうえで重要だった。自民党候補敗北の流れ、岸田内閣凋落と反自民の流れが生まれたことを前向きにとらえ、「今度は政権交代へ」「比例で共産党を伸ばしてほしい」と今後の運動の力にすることが重要です。

　もともと今回の選挙は当選者が1人の三つ巴で、鈴木候補が吹き飛ばされる可能性もあるたたかいでした。そういうなかで、鈴木候補が１１６，５５４票（8.51％）を獲得したことは、わが党が比例で躍進するたしかな土台を築くもの。

　今回の選挙と単純な比較はできないが、しまづさんが議席に届かなかった前回衆院選の比例得票１１３，９００（6.68％）を上回った。定数２１の東海ブロックで１議席獲得に必要な得票率は4.55％、２議席獲得するには9.10％が必要です。今回、無所属候補への流れが強まる中で、党公認候補の鈴木候補が8.51％の得票を得たことは、衆院選で比例選挙の飛躍をつくる土台そのもの。鈴木候補を先頭に切り開いた今回の到達を、しまづ再選へ、組織戦の飛躍につなげることです。

　重要なのは、「比例は共産党」ときちんと訴えぬくことです。鈴木候補への熱い反応がそのまま鈴木候補への得票にならないのと同様に、衆院選でも、熱い党への反応は、そのまま比例得票につながるわけではありません。とくに、わが党が候補者を立てていない小選挙区では、１票目の他の野党候補の政党に、２票目の比例得票も引きずられることになります。比例をきちんと訴え、最後にも比例を訴える。新しいスポットを活用してください。